

【当初】2021（令和3）年2月～

- ・阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト「**トレイルネットワーク構想**」として**3空港を結ぶ**トレイルとして推進。

【現在】2022（令和4）年度～**エリアを3公園（釧路湿原・阿寒摩周・知床）に拡大**
 コロナ後の新しい観光スタイルとして、ひがし北海道における**トレイルのブランド化と観光利用促進**を目的に、広域連携による「**ロングトレイル**」を検討

- ①千島列島から続く、知床、屈斜路、阿寒に連なる火山地帯を横断しながら**5つの特色あるエリアと3つの海にまたがる総距離350kmの壮大な道。**
- ②長く1本に繋がった道は人々を魅了し歩くことを目的に人々が訪れる。

令和4年度：ルート全線調査、関係市町村への説明&理解促進、交流会等を開催

【今後】2023（令和5）年度

①管理運営組織設立

- ・管理運営体制の構築
- ・トレイルセンター機能設置

管理運営体制	知床	釧路湿原	阿寒摩周	知床
知床	知床観光協会	知床観光協会	知床観光協会	知床観光協会
釧路湿原	釧路湿原観光協会	釧路湿原観光協会	釧路湿原観光協会	釧路湿原観光協会
阿寒摩周	阿寒摩周観光協会	阿寒摩周観光協会	阿寒摩周観光協会	阿寒摩周観光協会
知床	知床観光協会	知床観光協会	知床観光協会	知床観光協会

参考：NPOみちのくトレイルクラブ運営体制

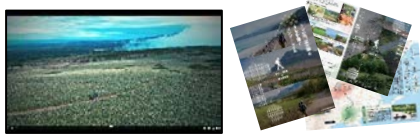
②ルート全線確定

③ブランドイメージ決定

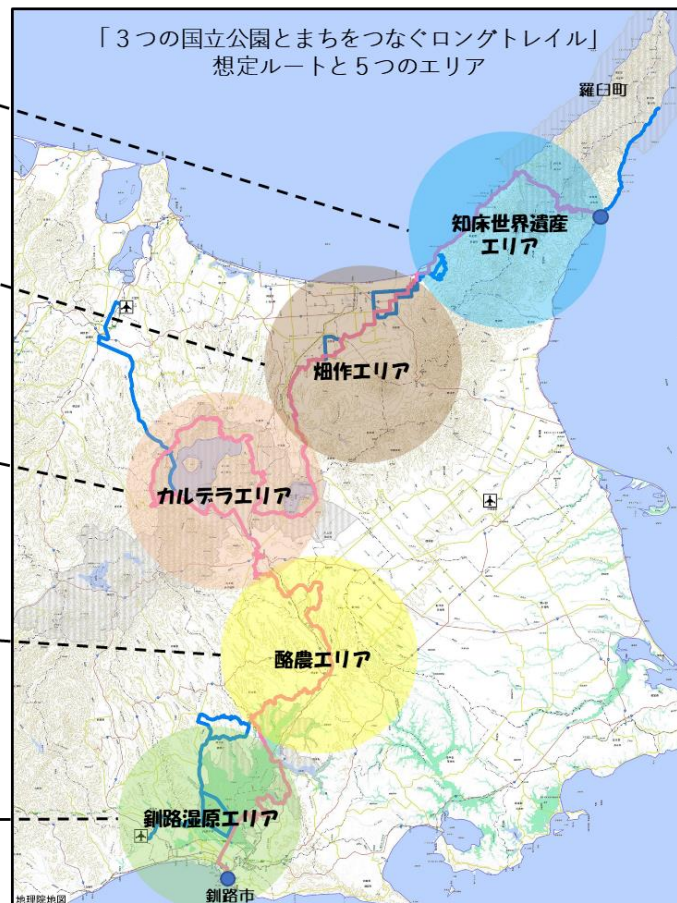


国内外のトレイル名称、ロゴマーク

④プロモーション素材作成



動画、ポスター、パンフレット（暫定版）



3つの国立公園とまちをつなぐロングトレイルとは

- ・釧路湿原国立公園、阿寒摩周国立公園、知床国立公園を繋ぐ、釧路市と羅臼町を基点とした350kmの長く1本に繋がった歩く旅の道。
- ・3つの森林管理署（根釧西部・東部、網走南部）、国土交通省（北海道開発局・北海道運輸局）、北海道の協力を得て13市町村連携で推進。

〈主な特徴〉

- ・**釧路湿原エリア、酪農エリア、カルデラエリア、畑作エリア、知床世界遺産エリア**といった、北海道らしさを体感できる、5つの特色のあるエリアからなる。
- ・縄文からアイヌ、北海道開拓に至る、人々の暮らしや歴史・文化を感じながら、数日間かけて歩いて旅をすることが出来る。

アメリカにも同様に3つの国立公園を歩く「ジョン・ミューア・トレイル（340km）」がある

2024（令和6）年度 「全線開通」を目指す！

ATWS2023北海道/日本（ATWS2023）について

日 程：令和5年(2023年)9月11日(月)～14日(木)

主会場：札幌市内（札幌コンベンションセンター）

参加者：各国の旅行会社、メディア、政府観光局 等のAT関係者 ※2019年大会は約60カ国800人が参加

開催イメージ

日 程	内 容
9/6頃～9/10	Pre Summit Adventure（道内・道外） → 4泊程度の体験ツアー（任意参加）
9/11 (1日目)	Day of Adventure（道内） → 日帰りAT体験ツアー（全員参加）
9/12～14 (2-4日目)	オープニングセレモニー、各種講演、ワークショップ、市内見学・体験ツアー、マーケットプレイス（商談会）、メディアコネクト（商談会）、クロージングセレモニー 等
9/15～18頃	Post Summit Adventure（道内） → 2泊程度の体験ツアー（招待制）

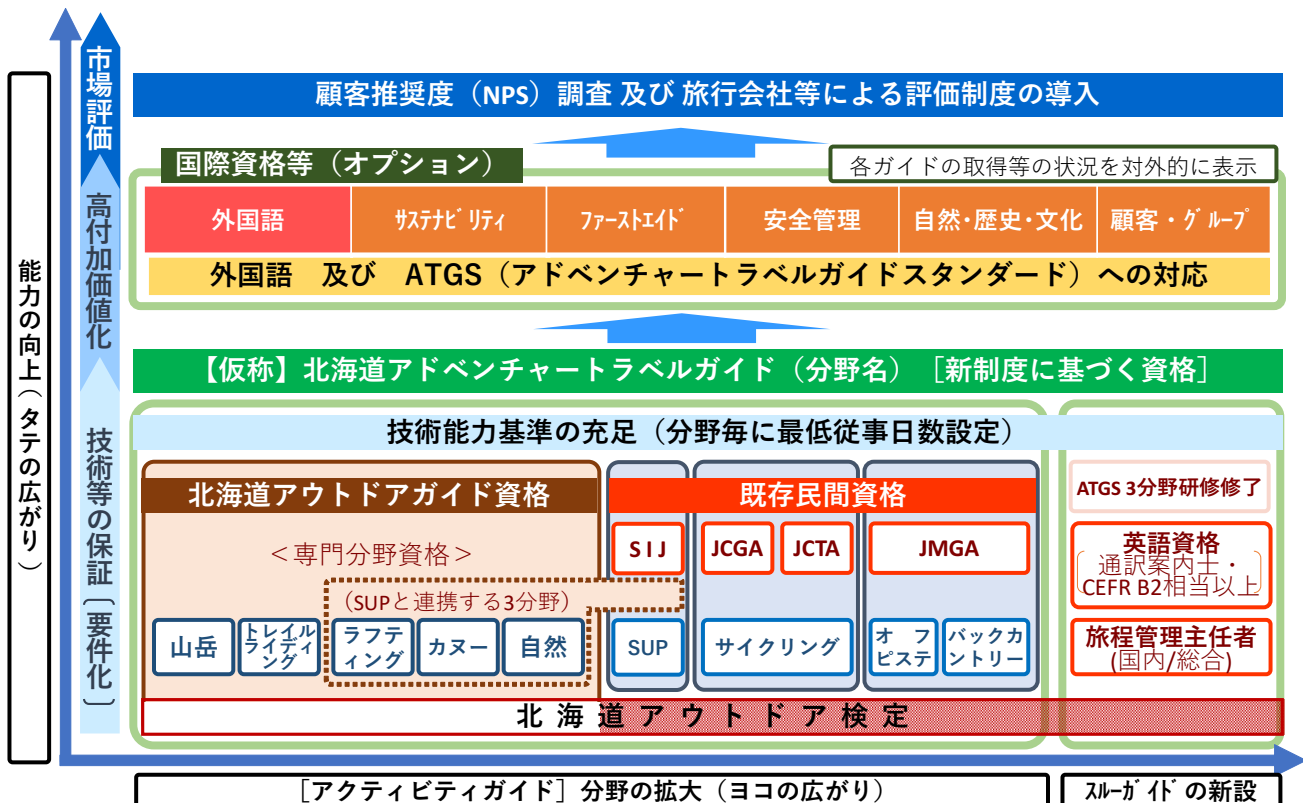
開催地一覧

- 2016 アンカレッジ（米）
- 2017 サルタ（アルゼンチン）
- 2018 トスカーナ（伊）
- 2019 ヨーテボリ（スウェーデン）
- 2020 アデレード（豪）※中止
- 2021 **北海道（バーチャル開催）**
- 2022 ルガーノ（スイス）
- 2023 北海道**

アドベンチャートラベルに対応した新しいガイド制度の創設について（案）

<制度の概要>

趣 旨	目標：国際的にも評価される、誘客効果の高い、稼げるガイド制度として強化 ・ ATにおいて求められる幅広くかつ質の高い役割を果たすことができる、新たなガイドの認証制度を創設（2023年度から試行開始） ・ 制度の周知や人材育成・確保等の取組を総合的に推進
考 え 方	北海道アウトドアガイド制度を土台に対象分野の拡大（ヨコの広がり）や質の高いガイド能力の向上（タテの広がり）を図る。
アクティビティガイド分野拡大（ヨコの広がり）	民間資格と連携、既存制度の5分野（自然、山岳、カヌー、ラフティング、トレイルライディング）に加え、次の分野を追加（拡大） ○ サイクリング ○ スタンドアップパドルボード（SUP） ○ オフピステ（サイドカントリー） ○ バックカントリー
スルーガイドの新設	自身もツアーに参加し、顧客管理を担い、ツアー参加者とアクティビティガイドを含めた地域関係者及び旅行会社等との橋渡しを行うコーディネーターを新設
能力向上（タテの広がり）	技術等の保証（要件化）： 以下の2つの要件を充足した者をガイドとして認証 ① 道アウトドアガイド資格 又は ①' 民間資格等+道アウトドア検定 ② 技術能力基準（分野毎・日数） 高付加価値化： アドベンチャートラベルガイドスタンダード（ATGS）の5つの中核能力に対応した資格の取得等の状況を確認 ⇒ 対外的に表示 市場評価： 顧客推奨度（NPS）調査・旅行会社等による評価制度を導入



阿寒摩周国立公園指定90周年について

阿寒摩周国立公園管理事務所

阿寒摩周国立公園は、昭和9年12月4日に指定され、令和6年に指定90周年を迎えることとなる。

平成28年度から国立公園満喫プロジェクトによる取り組みを推進してきたが、指定90周年を迎えるにあたり、90周年を祝いつつ、これまでを振り返り、指定100周年に向けて新たな一歩を踏み出す取り組みを関係機関とともに実施することを検討したい。

【これまでに阿寒摩周国立公園で行われた周年行事】

①指定80周年

・記念式典・祝賀交流会の開催

平成26年10月17日に、川湯温泉において記念式典および祝賀交流会を開催した。併せて、指定80周年記念アルバムを制作。

・記念シンポジウムの開催

平成26年5月26日に、阿寒湖温泉において阿寒国立公園広域観光協議会と釧路自然環境事務所の共催で、記念行事「阿寒国立公園指定80周年記念シンポジウム阿寒国立公園これからの展望」を開催した。基調講演や、自然体験、アイヌ文化、食、観光等の各分野の専門家によるパネルディスカッションを通じ、これまでの歴史を振り返るとともに、魅力の発信や将来目指すべき姿について、特に利用の推進の観点から議論を深めた。

②指定70周年

・記念フォーラムの開催

平成17年3月30日に、阿寒湖温泉において阿寒国立公園広域観光協議会主催で、「阿寒国立公園指定70周年記念フォーラム 国立公園と地域振興」を開催した。100人規模。

③指定60周年

・記念フォーラムの開催

平成6年11月4-5日に、釧路市及び札幌市において前田一步園財団、北海道新聞社及び自然公園財団の共催で、「阿寒国立公園60周年記念フォーラム 阿寒

の新たな魅力を探る」を開催した。

※前田一步園財団の調査事業成果発刊と連動して企画開催

・記念シンポジウムの開催

平成6年11月11日に、弟子屈町において阿寒国立公園シンポジウム実行委員会（阿寒国立公園を構成する10町1村等）主催で、阿寒国立公園指定60周年記念事業の一環で「阿寒国立公園シンポジウム」を開催し、阿寒国立公園の現状と今後のあり方について探求するとともに、構成10町1村の地域間交流の推進を図った。

- ・パークボランティア養成講座の開催（釧路自然環境事務所）
- ・国立公園入口標識の整備（釧路自然環境事務所）
- ・国立公園ボカシ地図の作製（北海道地図（株））
- ・記念絵はがきの発行等（郵政省北海道郵政局）
- ・オレンジカードの発行（JR 釧路支社）
- ・写真集の発行（個人）
- ・新聞特集記事の掲載（北海道新聞釧路支社）
- ・自然に親しむ行事の強化、冠イベントの実施（関係機関）

④指定50周年

・記念式典・祝賀交流会の開催

昭和59年10月13日に、阿寒湖温泉において阿寒国立公園広域観光協議会主催で記念式典および祝賀会を開催した。300人規模。

- ・指定50周年記念国立公園紹介冊子の制作（阿寒国立公園広域観光協議会）

◆参考◆

①同時に指定90周年を迎える国立公園

大雪山、日光（尾瀬）、中部山岳、阿蘇くじゅう
瀬戸内海、雲仙天草、霧島錦江湾

②同時に指定〇十周年を迎える国立公園

知床、南アルプス（指定60周年）、利尻礼文サロベツ（指定50周年）
慶良間諸島（指定10周年）

※下線は、北海道内の国立公園